



今年の広島・長崎子ども会親善交歓会は、8月5日(木)～7日(土)に行われました。長崎市からは53名が参加し、6日には広島平和記念式典にも参加しました。平和について貴重な体験ができた3日間でした。

広島に行って

土井首小学校5年 月川 千晶

初めて広島・長崎子ども会親善交歓会に参加しました。広島に着いています。野外炊飯で玉ねぎを切ってカレーを作りました。おいしかったです。今回、下で参加したので、心細い気持ちになりましたが、リーダーや同じ部屋の人たちと話をしているうちに楽しくなりました。

2日目は、5時半に起きて、平和記念式典に参加しました。原爆投下された8時15分にもくとうをしました。よく晴れて暑かったです。六十五年前も同じように暑かったのかなと思いました。その後の宮島の散策は、世界文化遺産の厳島神社と大鳥居は、海の中に建っていて、赤い色が印象に残りました。そして、楽しみにしていたお好み焼き館では、たれの作り方を教えてもらいました。私は、お好み焼きの屋台があるなんて知りませんでした。それに、屋台の名前が『〇〇ちゃん』というのが多くて、親しみやすいと思いました。キャンプファイヤーでは、みんなで踊り歌ったりして楽しかったです。

3日目は、平和記念資料館に行って、広島の人々の苦しみ分かりました。もし今、原子爆弾が落ちてきたらと、怖くなりました。折鶴奉納は、私たちが平和への祈りをこめて折った鶴を奉納しました。これからも、平和な世界がありますように願いました。2泊3日友だちも増えて、楽しかったなと思いました。

広島・長崎子ども会親善交歓会

三川中学校1年 小川 健太

僕が今回広島・長崎子ども会親善交歓会に参加して思った事は、僕は今回は2回目の参加になったんですが、去年はふつうの子ども会からの参加だったんですが、今年は「ジュニアリーダー空」としての参加だったし、今年は広島に行くという事だったので、楽しそうだなあと思う反面、少し緊張などもありました。でも、本番の日も班のみんなもふつうに話しかけてくれたり、広島の人たちとも喋ったり出来た、宿泊部屋の人たちとも仲よく話したり出来たので良かったです。それに、広島での平和記念式典にも出たり、平和記念資料館も見学出来たりしてとても貴重な体験をたくさんしました。それに、平和記念式典や平和記念資料館などに行ったり、見学したりして、改めてこの原爆の恐ろしさや戦争の無惨さなどが分かり、実際にほんの65年前にこの日本も戦争をしていてこの広島に原爆が落とされたんだなあと思えて感じました。僕はこの3日間は自分のためになるいい思い出ができました。

ジュニアリーダーとして

長崎女子高等学校2年 福井 美樹

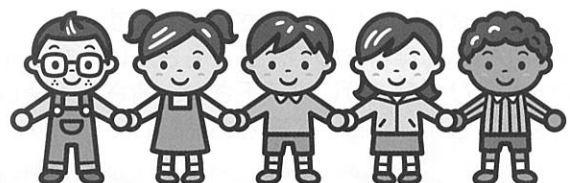
私がこの交歓会に参加するのは、今年で6回目であって、リーダーとして参加したのが初めてでした。

班付リーダーとして動くことが初めてだったので、まとめていけるかという不安が一番大きかったです。

私の一番の目標が、子どもたちが笑顔で楽しく活動できるように、そして、この交歓会が無事成功するよというのが目標でありました。リーダーをやってとどなにきついことでも、子どもたちの笑顔に救われ、やってよかったなあと思えました。

来年の交歓がよりいいものになるように、今回でできた反省点や学んだことを今後の活動に生かしていきながら、来年に向けてまたがんばっていきましょうと思います。

最後にこの交歓会に参加してくれた団員のみんな、私についてきてくれた8班のみんな、いろんなところで支えてくださった指導者の方々、ありがとうございました。また来年、長崎で会いましょう!!!



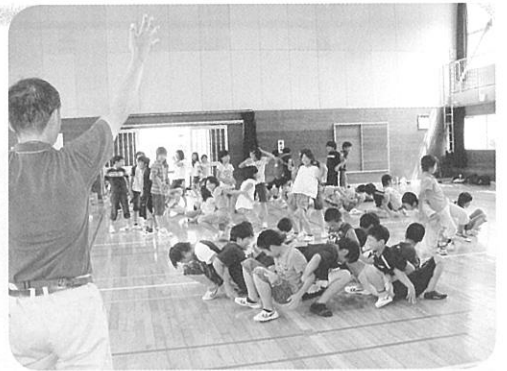
リーダー研修会に行って

橘小学校5年 園田 彩芽

夏休み最初の土曜日の7月24日、古賀地区市民センターへリーダー研修会に行った。

初めにどの小学校から来ているか手をあげたら、いろんな小学校の人がいた。手をリズムに合わせてたたいたり、1年生から6年生までが一緒にできるゲームを色々教えてもらった。

最初のほうは同じ学校の人としか話せなかったけど、あとからはちがう小学校の人とも少し仲良くなれた。会ったことのなかった人と友達になれて、うれしかった。今日、教えてもらったことを、学校の行事や子ども会のゲームなどでもやってみようと思った。



東公民館区子ども会育成指導者研修会及び 子ども会リーダー研修会

毎年7月に、子ども会活動の充実と活性化を図るため、子ども会育成指導者研修会及び子ども会リーダー研修会を開催しています。今年は、東公民館建て替えのため、仮館舎での実施でしたが、多数の方に参加していただきました。代表して感想を寄稿していただきましたので、ご覧下さい。

東公民館区広報啓発専門委員 松林 廣美

びーどろ子ども会推進主事 福森真砂美



7月10日、午後1時30分から古賀地区市民センターにおいて、子ども会育成者研修会が行われました。健康レクリエーションコーディネーターの都知木 睦先生のご指導のもと、子どもたちの心を引きよせる「ジャンケン」を使った楽しい遊びを教えて頂きました。「長崎の平和ジャンケン」は勝負するのではなく、2人であいこになるまでジャンケンをするもの、「ほくろジャンケン」は、勝った人が負けた人の顔に黒いシールをつけるというもの。この日参加したお母さんの中には、ジャンケンに負け続けて、顔中ホクロだら

けになっていた方もいらっしゃいました。(笑)

他にも沢山の遊びを教えて頂き、2時間の研修があつという間に終わりました。今後の子ども会活動の参考にさせて頂きたいと思います。ありがとうございました。

子どもゆめフェスティバル 2010

今年も11月27日(土曜日 12:00~15:30)に「子どもゆめフェスティバル」が、長崎市民体育館で開催されます。

子どもたちによる手作りのゲームコーナーやステージ発表など、楽しい催しがたくさんあります。

入場はもちろん無料なので、子どもさんはもちろん、大人の方もぜひ遊びに来て下さい。皆さんで楽しい時間を過ごしましょう。ご来場お待ちしております。

編集後記

大人の都合による、身勝手な痛ましい事件が多発しています。躰(教育)と称しての暴力行為や、食事を与えないなどの虐待が、全国で4万件に上ると言うから驚きます。

理由は、子育てから逃げ出したい、遊びたい、邪魔に感じたなどがあげられています。

人と人との繋がりや触れ合いが希薄になり、かわりたくないなどの協同社会からの逃避も一因と言えます。

地域の人々が積極的にお節介になり、相談し、助け合う風土の再構築がのぞまれます。「子どもは、地域の宝」なんとか護りたいものです。